



ふくほうのシンボルマーク

グリーン三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

The Fukuho Bank, Ltd.

発行／平成23年12月
編集／株式会社 福邦銀行 企画部
〒910-0023 福井市順化1-6-9
TEL／0776-21-2500(代表)
<http://www.fukuho.co.jp>

第104期 営業の中間ご報告 [中間ミニ・ディスクロージャー誌]

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで





平成23年12月

取締役会長 三田村俊文

取締役頭取 東條 敬

日頃は福邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。株主の皆様、並びに取引先の皆様をはじめ地域のお客様には、多大なるご支援とご理解をいただき心から厚くお礼申し上げます。

このたび当行の経営方針や業績の概要などをまとめました第104期営業の中間ご報告〔中間ミニ・ディスクロージャー誌〕を作成いたしましたので、ご高覧賜れば幸いです。

平成23年9月期中間決算における国内経済は、震災の影響で成長が大きく低下した後の回復途上にありました。震災後はサプライチェーンの混乱等を背景に、生産活動が大きく落ち込み、消費マインドも冷え込んだほか、雇用・所得環境も悪化するなどの状況が生まれました。しかしながら、生産面を中心に速いペースで回復しており、生産・輸出は震災前の水準にほぼ戻り、個人消費も徐々に回復しております。福井県内の経済においても設備投資も持ち直し、家計・企業のマインドも総じて改善したものの、先行きについては、海外需要の減少懸念や円高の定着による企業収益力の低下懸念など不透明な状況にあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下、当行グループは経営強化計画に基づく諸施策を確実に実践するため役職員一体となって積極的に業務に取り組んでまいりました。引き続き「地域密着の徹底による経営強化」を基本方針に、「お客様とのコミュニケーション1番銀行」として、中小企業規模事業者および個人のお客様に対する円滑な資金供給や各種サービスの提供を通じて地域金融機関としての使命を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール (平成23年9月末現在/単体ベース)

名称	株式会社福邦銀行 THE FUKUHO BANK,LTD.
本店所在地	福井市順化1丁目6番9号
創立	昭和18年11月5日
資本金	73億円
総資産	4,411億円
預金	4,165億円
貸出金	3,091億円
自己資本比率	8.81% (国内基準)
店舗数	39カ店
従業員数	578名

もくじ

ごあいさつ、プロフィール	1
経営強化計画	2
業績ハイライト	3
金融の円滑化に向けた取り組み	5
金融サービスの向上	7
地域の皆様とともに	9
経営強化計画について	10
第104期中間連結財務諸表	11
第104期中間財務諸表 (単体)	12
株式のご案内、株主優待について	13
店舗一覧、お問い合わせ先一覧	14

ふくほう「全力」宣言

目指す銀行像

お客様とのコミュニケーション1番銀行

基本方針

地域密着の徹底による経営強化

基本戦略

- お客様本位の営業の徹底
- 経営資源の最大活用
- 戦略分野のシェア率向上
- 役職員活性化
- 全体最適

お客様が望みかつ喜ぶ金融サービスを提供し収益を生み出す優先順位を明確にし、限られた資源を効果的に活用する業容拡大を牽引する分野を強化し、優位性を確立する目標達成に不可欠な「やる気」を恒常的に発揮させる仕組みを作る各部門、各戦略間で相乗効果を発揮する

重点課題

1.収益力の強化

- (1) トップライン収益増加
 - ・事業者向け貸出の増加
 - ・個人向け貸出の増加
 - ・預金取引の増加
 - ・営業店中期経営計画の策定
- (2) 経営効率化
 - ・業務改善取り組み (新カイゼン運動)
 - ・営業プロセス改善運動の展開
 - ・経費削減対策の実施
- (3) 中小規模の事業者に対する円滑化
 - ・貸出増加 (訪問運動、貸出構成見直し計画、貸出先の「新增現守」)
 - ・経営改善支援取り組み (課題解決型提供営業の推進、成長基盤強化支援)
 - ・金融円滑化の取り組み
 - ・実施体制の整備

2.組織力の強化

- (1) 戦略に合致した組織体制の構築
 - ・営業現場の実情に目を向けた柔軟な運用店舗編成、渉外専担制、ブロック体制
- (2) 人材の育成、活用
 - ・営業店のマネジメント向上
 - ・若手行員の計画的育成
 - ・女性行員の活躍躍進
 - ・中高年行員の営業戦力的化

3.ガバナンス態勢の強化

- (1) リスク管理態勢の強化
 - ・統合的リスク管理の高度化
 - ・市場リスクの適切な管理
 - ・信用リスクの適切な管理
- (2) 内部統制の堅確化
 - ・法令等遵守の強化
 - ・顧客保護態勢の強化
 - ・福邦グループの最適化
 - ・株式上場準備

経営理念

地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全なる経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心

信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

和の心

お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

進取の心

変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

共存共栄の心

お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

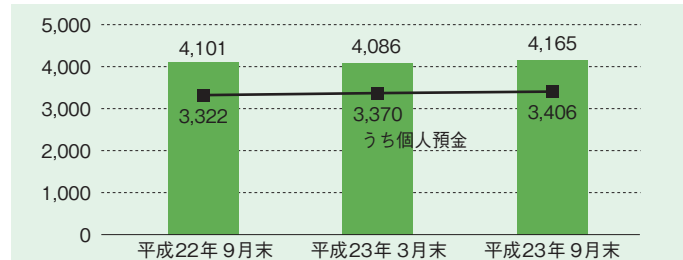
業績ハイライト

預金等の状況（単体）

預金残高は、個人および公金預金が増加したことから、前期末比79億円増加の4,165億円となりました。預かり資産残高は国債および投資信託ともに減少し、前期末比55億円減少の252億円となりました。

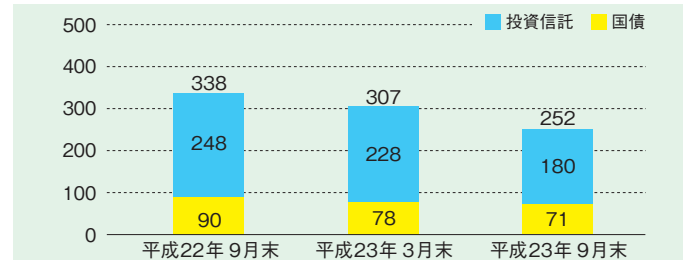
預金残高の推移

(単位：億円)



預かり資産残高の推移

(単位：億円)

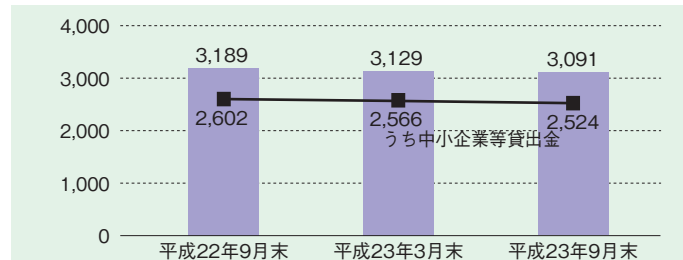


貸出金の状況（単体）

貸出金残高は事業性資金および消費者ローンともに減少したことにより、前期末比37億円減少の3,091億円となりました。

貸出金残高の推移

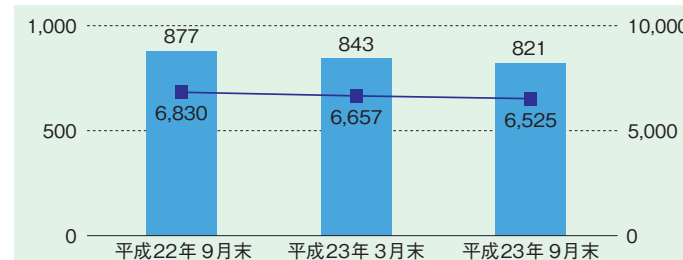
(単位：億円)



住宅ローン残高・件数の推移

(単位：億円)

(単位：件)



(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社または常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人、サービス業は100人）以下の企業等です。

損益の状況（単体）

経常収益は、有価証券売却益が減少した結果、前年同期比5億61百万円減少の49億27百万円となりました。銀行の本業部分の収支を示すコア業務純益は、役務取引等利益の減少等により前年同期比4百万円減少し7億93百万円となりました。経常利益は、株式等損益の減少および貸倒償却引当費用が増加した結果、前年同期比1億98百万円減少し6億4百万円となりました。中間純利益は、減損損失を計上した結果、前年同期比4億57百万円減少し5億40百万円となりました。

用語解説（コア業務純益）

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因（債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額）を差し引いたものです。

コア業務純益

(単位：百万円)

平成22年9月末	797
平成23年3月末	1,549
平成23年9月末	793

経常利益

(単位：百万円)

平成22年9月末	803
平成23年3月末	925
平成23年9月末	604

中間（当期）純利益

(単位：百万円)

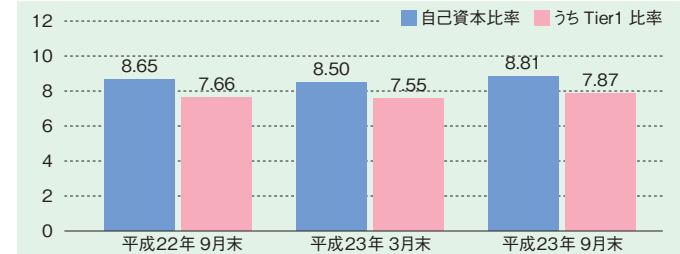
平成22年9月末	997
平成23年3月末	727
平成23年9月末	540

自己資本比率の状況（国内基準）

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられています。平成23年9月末のリスク・アセット（万一の場合、貸倒れの危険性のある資産）に対する自己資本の額は銀行単体174億円、連結は180億円、自己資本比率は単体8.81%、連結9.08%、Tier1比率では単体7.87%、連結8.14%となっております。

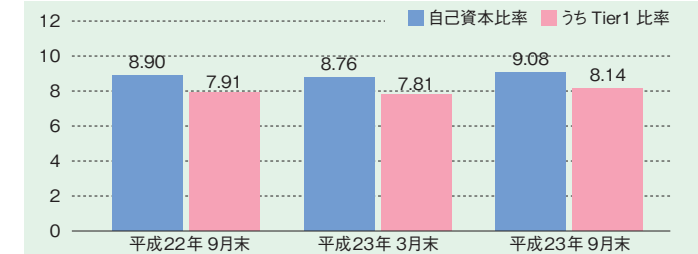
(単体)

(単位：%)



(連結)

(単位：%)



資産査定状況

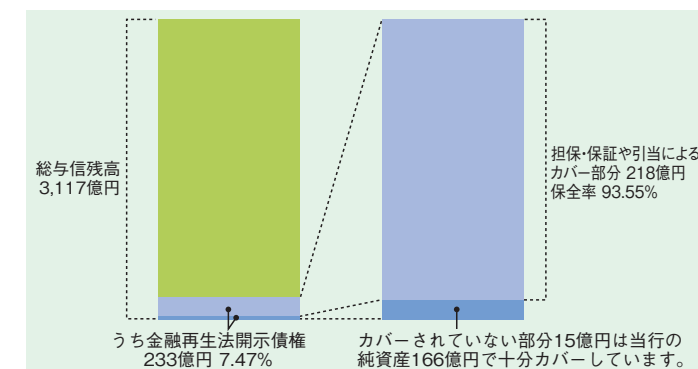
当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成23年9月末の金融再生法開示債権は前期末比1億円増加の233億円となりました。

なお、金融再生法開示債権233億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当てしている部分も含まれております。開示債権に対する保全額は218億円、保全率は93.55%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

金融再生法開示債権額

(単位：百万円)

	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
金融再生法開示債権合計	21,473	23,123	23,310
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,190	5,198	3,490
危険債権	17,138	17,300	18,961
要管理債権	144	624	857
保全額	20,457	21,903	21,807
貸倒引当金	4,389	4,802	4,227
担保保証等	16,068	17,100	17,579
総与信残高（末残）	322,347	315,753	311,717



金融の円滑化に向けた取り組み

当行は創業来、お客様との間で長く続いた親密な関係を強化・維持し、ニーズに応じた金融サービスを提供する地域密着型金融の推進を基本としております。特に、中小企業者等のお客様に対する信用供与を円滑に行うため、お客様の存続・発展に資する金融仲介機能を十分に発揮できるよう努めております。

また、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の施行を踏まえ、お借入れ条件の変更等に関する取り組みにおける基本方針を制定いたしました。この方針に基づき、地域金融機関としての健全性を維持向上し、経営支援を中心とした相談機能を充実させること等の金融円滑化に向けた取り組みを、従来に増して適切かつ積極的に実施してまいります。

【主な取り組み】

- 事業者ローン「勇士3000」や「フロンティア500」、「ふくほうプライムサポート」、ABL（資産担保貸出、動産・流動資産を活用した融資手法）、機械設備を担保とした「機械担保ローン」などの取り扱いによる担保・保証に過度に依存しない融資推進
- 行員の目利き能力（融資審査能力）向上のため中小企業診断士やFP技能士など人材育成
- 法人営業グループによる情報収集や資金需要に対するご相談やご提案
- 法人営業役席のきめ細やかな金融サービス提供によるサポート
- 中小企業融資推進室等による本部サポート体制の整備
- 財団法人ふくい産業支援センターと連携した移動経営相談会の実施
- 地元大学との連携を強化し、大学が保有する技術情報と地元企業のマッチングに関する支援
- 企業経営支援室による経営改善活動のサポート
- ビジネス商談会の開催によるビジネスチャンス創出
- 「福邦銀行ビジネスマッチング情報交換制度」や「第二地銀加盟行ビジネス情報交換制度（愛称：B-net）」によるビジネスマッチングのサポート
- 中小企業経営診断システム（MSS）を利用したふくほう財務診断サービスの実施
- 金融円滑化ご相談窓口の設置による中小企業の皆様や住宅ローンご利用の皆様のご事情に応じたきめ細やかなご相談
- 国土交通省が実施する「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に関して、パートナー協定を締結。建設業が抱える経営課題に対する支援

6000先訪問運動

ご融資先との関係強化と新たなご融資先への訪問運動として全店で6000先訪問運動に取り組んでおります。



移動経営相談会

ふくほう財務診断サービスのご案内

中小企業のお客様の企業経営支援の一環として「中小企業経営診断システム（MSS）」を利用した簡易な診断サービスを開始いたしました。ご利用料は無料です。くわしいサービスにつきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお申し付けください。

※なお、財務診断の結果は、融資の審査の判定に用いるものではなく、あくまでお客様の財務状況の把握、経営改善に活用していただくことを目的としたものです。また、数値は絶対的なものではなく、ひとつの目安としてください。

住宅ローンご返済条件変更手数料の無料化のご案内

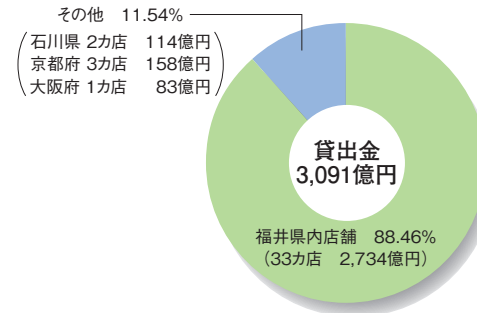
ご勤務先の事情等による離職等やご収入の減少などにより、住宅ローンのご返済計画の見直しをされるお客様について、「中小企業金融円滑化法」の趣旨を反映し、平成21年12月4日から平成24年3月31日までの間、当行の住宅ローンに係るご返済条件の変更手数料(15,750円)を無料化いたします。ただし、新規(初回)の条件変更時のみとします。

※手数料無料化の詳細につきましては当行の営業店窓口でお問い合わせください。

地域の皆様へのご融資

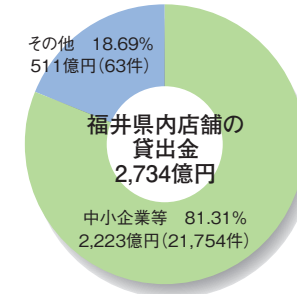
店舗所在地別の貸出金状況（単体）

（平成23年9月末現在）



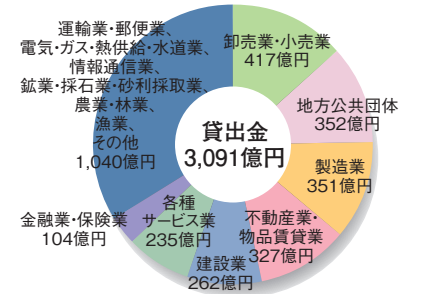
福井県内店舗の貸出金に占める中小企業等貸出金の状況（単体）

（平成23年9月末現在）



業種別貸出金の状況（単体）

（平成23年9月末現在）



地域密着型金融の推進

1. 企業に対するコンサルティング機能の発揮
 - 創業・新事業開拓支援
 - 経営革新・新連携等の公的制度を利用した支援
 - 成長段階における更なる支援
 - 外部機関と連携強化した、取引先の海外進出に対する支援
 - 経営改善支援
 - ふくい産業支援センターや福井工業大学産学共同センターとの業務提携・協力協定を活用した経営改善支援
 - 事業再生支援
 - 中小企業再生支援協議会や外部専門家と連携した事業再生支援
 - 事業承継支援
 - 中小企業基盤整備機構やみずほ証券等の外部機関と連携した事業承継支援
2. 地域の面的再生への積極的な支援
 - CRSへの取り組み
 - 「子育て応援バンク」の取り組み推進
 - 成長分野に対する取り組み
 - 「ふくほう成長基盤強化プログラム」の積極的な推進
 - 中小企業金融の円滑化
 - 目利き能力の発揮による担保・保証に過度に依存しない融資の取り組み推進
3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信
 - 地域密着型金融の取り組みに関する積極的な情報発信
 - プレスリリース、ディスクロージャー誌、ホームページ等への積極的な開示



東海北陸モノづくりビジネス・サミット2011
平成23年8月4日（木）富山第一ホテルで開催
主催行：北陸銀行、大垣共立銀行
共催行：当行ほか6行

金融サービスの向上

お客様感謝デーの開催

地域の皆様のご愛顧に感謝を込めて、全店の任意日でお客様感謝デーを開催いたしました。それに合わせて懸賞品付金利上乘せ定期預金「夢きらら」を取り扱いし、各営業店では季節ならではの催し物、展示物など、それぞれ店の個性とアイデアのある感謝デーで賑わいました。平成23年下期も同様に開催いたします。



武生支店のお客様感謝デー

電子記録債権（でんさい）システムの取扱いについて

平成24年5月より「(株)全銀電子債権ネットワーク（でんさいネット）」による「電子記録債権（でんさい）」の取扱開始を予定しています。でんさいとは手形や売掛金に代わる新たな決済手段として、事業者の資金調達の円滑化を図るために創設された新しい金銭債権です。当行では、お客様のニーズにお応えするため、取扱開始に合わせて準備を進めそれに先立ち、でんさいの仕組みや実務について、お客様向け「でんさいセミナー」を開催いたしました。



平成23年11月22日（火）福井県中小企業産業大学校（大教室）

ゆめプラザ（四ッ居）

ゆっくりおくとろぎいただけるご相談コーナーや小さなお子様用スペースを設置し、お客様のところに専門スタッフが出向いてご相談を承る活動にも力を入れております。また、「金融円滑化ご相談窓口」を設置し中小企業の皆様や住宅ローンご利用のお客様に対し、ご事情に応じたご相談を承っております。

取扱業務：住宅ローンや教育ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、学資保険、個人年金保険、年金お受け取りに関するご相談・アドバイス業務など

住所：福井市北四ッ居3-15-66

フリーダイヤル：0120-683-294

営業時間：平日 9：00～19：00（毎週水曜日定休）
土・日・祝日 10：00～17：00
年末年始（12月31日～1月3日）を除きます。



ゆめプラザ（四ッ居）

来店不要のローン申込み

「来店手続きが面倒」「審査スピードが遅い」などのお客様ニーズにお応えして、対象ローンの契約に限り当行にお取引がない方でも来店不要でローン契約が可能になりました。

ATMの利便性向上

当行のキャッシュカードは全国のイオン・マックスバリュなどに設置されているイオン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（出金のみ）。

コンビニATMではセブン銀行とATM利用提携し、全国のセブン-イレブンなどに設置されているセブン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（入出金）。そのほかローン、ファミリーマート、サークルK、サンクスなどに設置されている各ATMもご利用になれます（利用手数料がかかります）。

環境への配慮

お客様の環境配慮への対応を金融面から応援する取り組みを行っております。行内においても温室効果ガスの排出削減を目指す国民運動「チャレンジ25」に参加し、クールビズなどに取り組んでおります。

<環境に配慮した商品・サービス等>

- LPガス住宅ローン
- オール電化住宅ローン
- マイカーローンの金利割引サービスにエコカー購入を対象条件に設定
- 事業性融資「ふくほうプライムサポート」の金利割引サービスにISO14001またはエコアクション21認証取得を対象条件に設定
- エコクロス通帳、カーボンオフセット通帳の導入、ほか

「お客様の声」にお応えして

金融サービス向上を目指し毎年9月、「お客様の声」アンケートを実施しております。お寄せいただいたご意見やご要望をもとに平成23年度は、主に次のような取り組みを行いました。

- 音声ガイダンス機能が付いたATMを増設いたしました（平成23年10月31日現在21台）。
- ATMでキャッシュカードによる出金と通帳記帳を同時にできるようにいたしました。
- ATMで総合口座の定期預金のお預け入れをできるようにいたしました。
- 共通印鑑のお届けにより、口座開設店以外の店舗で普通預金・貯蓄預金・定期預金の解約出金をできるようにいたしました（個人の口座に限ります）。
- ふくほう法人WEBバンキングサービスのご利用時間を延長いたしました（振込振替サービスの予約扱い終了時間17時を21時までに変更等）。
- ふくほう法人WEBバンキングサービスの接続回線を増設いたしました。
- 快適な利用環境により、親しまれる店舗づくりを目指して店舗・ATMコーナーの改装、駐車場の拡大、スロープ設置等によるバリアフリーへの対応に取り組んでおります。

※商品・サービスの詳細につきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

地域の皆様とともに

「福井県応援ファンド」の取扱い

福井県に関連する企業の株式に投資し地元経済の発展を応援する投資信託商品「福井県応援ファンド」を取り扱っております。今年で運用開始5周年を迎え、信託報酬の一部を日本赤十字社福井県支部の活動資金として寄附を行っております。平成23年3月には寄附金123万円を贈呈し、累計では978万円となりました。



子育て応援バンクの取り組み

少子化問題に対応するためCSR活動の一環として「子育て応援バンク」を宣言し、地域のお客様の子育てを金融面から応援する取り組みを行っております。

子ども手当をお受け取りのお客様を対象とした「子ども手当受取口座のATM振込・利用手数料キャッシュバックサービス」をはじめ住宅ローン子育て金利割引制度、子育て応援定期、子育て応援に積極的な企業のお客様向け事業性融資商品の金利割引の取扱いのほか、金融経済教育活動に取り組んでおります。

また、福井県が推進するママ・ファースト運動「すまいるFカード事業」に協賛しております。

平成23年10月には、厚生労働省「均等・両立推進企業表彰」において「均等・両立推進企業部門」優良賞と「ファミリーフレンドリー企業部門」奨励賞の2部門を受賞しました。なお、2部門の同時受賞は、福井県内企業では初めてとなります。



子育て応援バンクのマーク



行員手作り創作童話（ゆめたろうとドーナツやさん）より

福邦カップ争奪ゲートボール大会の開催

地域のお客様の交流や健康づくりにお役立ていただくため平成23年7月から11月にかけて「第4回福邦カップ争奪ゲートボール大会」を開催いたしました。



平成23年度は約1,300名の選手の皆様のご参加をいただきました。

コミュニケーションボードの設置

耳の不自由な方や外国人の方などのお客様に、ご希望の取引や手続きをスムーズに行っていただけるよう全国銀行協会作成の「コミュニケーションボード」を店頭を設置しております。記号や文字を指し示してご利用になれます。



コミュニケーションボードの一部

女性プロジェクトチームTiaraの取り組み

地域のお客様の満足度向上とワーク・ライフバランスなどを目的とした女性プロジェクトチームTiara（ティアラ）が活動しております。

経営強化計画について

目標とする経営指標

平成23年8月に公表いたしました経営強化計画における目標とする経営指標は次のとおりです。引き続き同計画に基づいた様々な施策に積極的に取り組んでまいります。

【コア業務純益ROA】 (単位：百万円、%)

項目	23年3月期 実績	24年3月期 計画	25年3月期 計画	26年3月期 計画	改善計画
コア業務純益	1,549	1,466	1,762	2,160	611
総資産平均残高	435,617	438,482	442,984	447,937	12,320
コア業務純益ROA	0.35	0.33	0.39	0.48	0.13

※コア業務純益ROA=コア業務純益÷総資産平均残高

【業務粗利益経費率】 (単位：百万円、%)

項目	23年3月期 実績	24年3月期 計画	25年3月期 計画	26年3月期 計画	改善計画
経費（機械化関連費用を除く）	5,182	5,111	5,111	5,111	△72
業務粗利益	8,048	7,845	8,130	8,426	379
業務粗利益経費率	64.39	65.14	62.86	60.65	△3.74

※業務粗利益経費率=経費（機械化関連費用を除く）÷業務粗利益

【中小規模事業者等向け信用供与の残高、比率】 (単位：百万円、%)

項目	23年3月期 実績	24年3月期 計画	25年3月期 計画	26年3月期 計画	計画期間増減
中小規模事業者等向け貸出残高	158,519	160,000	162,000	164,000	5,481
総資産末残	431,895	435,334	440,088	444,105	12,210
中小規模事業者等向け貸出比率	36.70	36.75	36.81	36.92	0.22

※中小規模事業者等向け貸出比率=中小規模事業者等向け貸出残高÷総資産末残

※中小規模事業者等向け貸出とは銀行法施行規則別表第一における「中小企業等」から個人事業者以外の個人を除いた先に対する貸出で、かつ次の貸出を除外したもの
政府系出資主要法人向け貸出および特殊法人向け貸出、土地開発公社向け貸出等、大企業が保有する各種債権または動産・不動産の流動化スキームに係るSPC向け貸出等、その他金融機能強化法の趣旨に反するような貸出

【経営改善等支援取組率（地域経済への活性化への貢献の状況を示す指標）】 (単位：先、%)

項目	23年3月期 実績	24年3月期 計画	25年3月期 計画	26年3月期 計画	改善計画
創業・新事業開拓支援	19	15	15	15	△4
経営相談・早期事業再生支援	113	125	125	140	27
事業承継支援	5	2	2	2	△3
担保・保証に過度に依存しない融資促進	55	60	80	100	45
合計〔経営改善支援等取組数〕	192	202	222	257	65
取引先総数	4,820	4,790	4,970	5,150	330
経営改善支援等取組率（=経営改善支援等取組数／取引先総数）	3.98	4.21	4.46	4.99	1.01

※取引先総数=企業先+個人ローンまたは住宅ローンのみ先を除く個人事業者で融資残高のある先

経営諮問委員会の開催

当行では、取締役会の諮問機関として経営諮問委員会を設置しております。外部有識者の方から、地域への信用供与の円滑化や地域経済活性化に向けた経営戦略など、客観的な立場で評価および助言・提言をいただきます。助言等は経営に反映することで経営の客観性と透明性を高めてまいります。第5回の同委員会は平成23年7月に開催いたしました。

第104期中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在) (単位: 百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	16,858
コールローン及び買入手形	383
有価証券	110,209
貸出金	309,660
外国為替	212
その他資産	1,768
有形固定資産	4,825
無形固定資産	676
繰延税金資産	1,175
支払承諾見返	1,866
貸倒引当金	△ 6,331
資産の部合計	441,305
(負債の部)	
預借金	415,581
その他負債	200
賞与引当金	4,026
退職給付引当金	262
役員退職慰労引当金	997
睡眠預金払戻損失引当金	225
利息返還損失引当金	43
偶発損失引当金	0
再評価に係る繰延税金負債	231
支払承諾	668
負債の部合計	1,866
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
利益剰余金	2,837
自己株式	△ 204
株主資本合計	16,189
その他有価証券評価差額金	272
土地再評価差額金	738
評価・換算差額等合計	1,011
純資産の部合計	17,201
負債及び純資産の部合計	441,305

中間連結損益計算書 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	5,020
資金運用収益	4,093
(うち貸出金利息)	(3,432)
(うち有価証券利息配当金)	(653)
役務取引等収益	582
その他業務収益	313
その他経常収益	31
経常費用	4,393
資金調達費用	283
(うち預金利息)	(273)
役務取引等費用	436
その他業務費用	211
営業経費	3,173
その他経常費用	289
経常利益	626
特別利益	1
固定資産処分益	1
その他の特別利益	0
特別損失	114
固定資産処分損	0
減損損失	113
税金等調整前中間純利益	514
法人税、住民税及び事業税	13
法人税等調整額	△56
法人税等合計	△43
少数株主損益調整前中間純利益	557
中間純利益	557

第104期中間財務諸表 (単体)

中間貸借対照表 (平成23年9月30日現在) (単位: 百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	16,858
コールローン	383
有価証券	110,598
貸出金	309,119
外国為替	212
その他資産	1,448
有形固定資産	4,824
無形固定資産	674
繰延税金資産	1,170
支払承諾見返	1,866
貸倒引当金	△ 6,050
資産の部合計	441,105
(負債の部)	
預借金	416,582
その他負債	200
未払法人税等	3,425
リース債務	30
資産除去債務	539
その他の負債	53
賞与引当金	2,802
退職給付引当金	250
役員退職慰労引当金	995
睡眠預金払戻損失引当金	225
偶発損失引当金	43
再評価に係る繰延税金負債	231
支払承諾	668
負債の部合計	1,866
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
利益剰余金	2,254
利益準備金	65
その他利益剰余金	2,188
繰越利益剰余金	2,188
自己株式	△ 204
株主資本合計	15,606
その他有価証券評価差額金	272
土地再評価差額金	738
評価・換算差額等合計	1,011
純資産の部合計	16,618
負債及び純資産の部合計	441,105

中間損益計算書 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	4,927
資金運用収益	4,079
(うち貸出金利息)	(3,418)
(うち有価証券利息配当金)	(653)
役務取引等収益	504
その他業務収益	313
その他経常収益	29
経常費用	4,322
資金調達費用	282
(うち預金利息)	(273)
役務取引等費用	413
その他業務費用	211
営業経費	3,138
その他経常費用	276
経常利益	604
特別利益	1
固定資産処分益	1
その他の特別利益	0
特別損失	114
固定資産処分損	0
減損損失	113
税引前中間純利益	492
法人税、住民税及び事業税	8
法人税等調整額	△56
法人税等合計	△47
中間純利益	540

株式のご案内

- 事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 株主総会**
定時株主総会は毎年4月1日から3ヵ月以内に招集し、臨時株主総会は、必要があるときにこれを招集いたします。
- 定時株主総会の基準日**
定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。
- 剰余金の配当の基準日**
期末配当の基準日は毎年3月31日といたします。
- 単元株式数**
単元株式数は、1,000株といたします。
- 株式事務取扱場所**
 - 株主名簿管理人
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所
大阪府中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
 - 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部（証券代行事務センター）
 - 同取次所
中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
株式会社福邦銀行 本店および各支店
- 公告方法**
福井市において発行する福井新聞に掲載いたします。

株主優待について

平成23年3月31日現在の1単元（1,000株）以上保有の株主様に次の株主優待を実施しております。

- ①金利上乘せ定期預金
ご利用期間 平成23年7月1日～平成24年6月29日
- ②粗品進呈
発送時期 平成23年6月

店舗一覧（39カ店）

（平成23年10月末現在）

福井県（33カ店）

本松	支店	(0776)21-2500
幾久	支店	(0776)23-0880
日の出	支店	(0776)21-2830
新田	支店	(0776)26-2400
若塚	支店	(0776)23-4011
堀杉	支店	(0776)35-0700
成宮	支店	(0776)21-5700
高和	支店	(0776)21-6360
森木	支店	(0776)53-3500
社田	支店	(0776)56-3170
花堂	支店	(0776)34-2190
開発	支店	(0776)34-2870
春日	支店	(0776)53-6600
三江	支店	(0776)36-8480
金国	支店	(0776)51-0089
丸津	支店	(0776)81-3141
松岡	支店	(0776)73-0222
勝岡	支店	(0776)66-2010
大野	支店	(0776)61-0063
鯖江	支店	(0779)88-1576
神明	支店	(0779)66-3650
今立	支店	(0778)51-2870
	支店	(0778)52-6500
	支店	(0778)42-2030

武村	支店	(0778)24-3210
生国	支店	(0778)23-9290
越前	支店	(0778)37-1022
敦賀	支店	(0770)22-5522
美浜	支店	(0770)32-1137
三方	支店	(0770)45-0078
上中	支店	(0770)62-0031
小浜	支店	(0770)52-2910
高浜	支店	(0770)72-1311

石川県（2カ店）

小松	支店	(0761)22-7373
金沢	支店	(076)262-0266

京都府（3カ店）

舞鶴	支店	(0773)75-1290
東舞鶴	支店	(0773)62-4603
京都	支店	(075)231-6171

大阪府（1カ店）

大阪	支店	(06)6352-5051
----	----	---------------

お問い合わせ先一覧

お問い合わせ内容	連絡先	受付時間	
WEBバンキング	インターネットバンキングセンター 0120-898-294 (0776)21-2828	平日	9:00～21:00
住宅ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、学資保険、個人年金保険、年金お受取りのご相談	ゆめプラザ四ッ居 0120-683-294	平日(水曜定休) 土・日・祝日	9:00～19:00 10:00～17:00
金融円滑化に関するご相談	融資部 0120-067-294	平日	9:00～17:00
ローン申込み、お問い合わせ	コールセンター 0120-687-294	平日	9:00～21:00
キャッシュカード・通帳の紛失	お取引店	平日	8:45～17:00
	自動機監視センター（上記以外） 0120-013-294	365日	24時間
偽造・盗難キャッシュカード被害に関するご相談	お取引店 顧客サービスセンター 0120-298-294	平日	9:00～17:00
ご意見・ご要望			